



刈谷の夏を彩る花火

総合運動公園(8月15日)



会場利用の制限により、今年は花火大会のみ開催された刈谷わんさか祭り。グルメ・縁日エリアやキッチンカーストリートに屋台がずらりと並び、かき氷を頬張るグループやヨーヨー吊りを楽しむ親子など、多くの人でにぎわいました。花火大会では、観客のカウントダウンに合わせて大きな花火が打ち上げられると、「たまや〜」の声や歓声が上がり、多くの観客を魅了しました。

夢が広がる特別授業

総合文化センター(8月18日)



中学生が夢の選択肢を広げ、将来の夢を持つきっかけをすることを目的として開催している「かりやミライ授業」。今年はポップスピアニストでYouTuberのハラムちゃんを講師に招き、これまでの経験や夢を叶えた話などを聞きました。講演の後にはリクエストした曲を即興で演奏してもらうコーナーも。初めて聞く曲にも即座に対応するハラムちゃんの姿に、会場は大いに盛り上がりしました。

だんだんドコドコたたいてみよう！

社会教育センター(8月29日)



伝統ある日本の楽器・和太鼓を親子で体験できる講座を開催。締め太鼓や平太鼓などの数種類の太鼓が登場し、形や音の違いを学んだ後、実際に長胴太鼓を叩きました。慣れてくると一人で叩けるようになり先生の動きをよく見て真剣にリズムを覚えようとしていたり、初めての和太鼓にわくわくしたりする子の姿も。曲の最後は両手を挙げてポーズを決め、「ヤー！」という元気な掛け声が会場に響き渡りました。

大会への思いを込めて聖火をつなぐ

かりがね小学校～総合運動公園(9月5日)



第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)の開催に向けて行われた聖火リレー。19人のランナーが16区間でトーチをつなぎました。雁が音中学校では、吹奏楽部の生徒が応援の演奏を行い、総合運動公園では、刈谷城盛上げ隊の演舞や刈谷万燈保存会の万燈祭再現などのゴールセレブレーションが行われました。盛り上がりを見せる会場に聖火が到着すると、歓声が上がり、観客は国旗やうちわを振って応援しました。